



学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
6月の3

幼稚園での活動



6月1日(月)本園も始動しました。最初の2日間は表情にもどことなく元気がなく、職員の言葉かけにも反応が少なかったように感じました。また、先生たちのお話に対してもソワソワと、落ち着きが少なかったように思いました。ところが、木曜日、金曜日となると、特に年長組さんは昨年度のイメージどおりになってきました。登園後、みんなで積み木を積んでいます。高く積んでいくので届かなくなればイスを利用しての遊び。バランスを崩さないようにと慎重な置き方、何故か声も小さくなっていきます。それでも積み木が倒れたときは、「キャー！！」でした。外遊びでは、サッカーが流行っています。コートは水線で先生が引きますが、いつの間にやらコートの外にイスを並べ、椅子の前にコーンを設置していました。観客席をイメージして設定したのでしょうか。砂場での遊びも「ここはこうしよう」「これを使おう」「もっとこういう風にすれば？」などと声を掛け合いながら、遊びが次のステップへ繋がり、その結果、遊びが発展してい

きます。つまり、「遊び」は「学び」なのです。汗をかきかき、体一杯使って遊んでいます。たまみず幼稚園活動復活です！！たまみず野菜

王国もぐんぐん成長し、最近では、茹でたサヤエンドウと茎ブロッコリー、きゅうりの塩もみを給食時に一品出しています。園児にうけてます。四季折々の野菜を食していきます。先日、畑地区にでかけ、小梅をもいできました。1キロ強ありましたので、只今梅ジュースを作っているところです。冷蔵庫に寝かせてあります。外で遊んだ後に冷たく冷えたジュースを飲むとおいしいでしょうね。幼児期は人生の中で一番心がゆれるときと考えています。この時期に季節に応じた様々な野菜を食し、そのみずみずしさや柔らかさ等を感じながら野菜の持つおいしさを味わっていきます。

本園において育みたい資質・能力



幼児期に育みたい資質・能力は、小学校以降のようないわゆる教科指導で育むのではなく、幼児の自発的な遊びや生活の中で、感性を働かせてよさや美しさを感じ取ったり、不思議さに気付いたり、できるようになったことなどを使いながら、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることなどを通じて育むことが重要。(幼稚園教育要領ポイントより抜粋)

●実際の活動で取り組んでいくこと・・・日々の体幹体操、幼児用スポーツテスト、朝の会等での司会進行、1日の振り返り場面の設定、選択・自己決定場面の確保、行事遊び、一人一瓶生け花、登園後の読み聞かせ等々、6月スタートを機に取り組んでいきます。